

2025 年度北海道支部活動報告

主 催：公益社団法人日本語教育学会

開 催 日：2025 年 7 月 6 日（日曜）10:00～13:00

会 場：北海道大学 学生交流ステーション

参加人数：25 名（会員 15 名、一般 6 名、関係者 4 名）

2025 年度支部活動【北海道支部】を 7 月 6 日（土）に、北海道大学で開催しました。当日は、札幌市内はもちろん、道内の他都市や道外からも、多くの方が集まってくださいました。今回は筑波大学より伊藤秀明先生をお招きし、『CEFR の理論と実践—Can-Do で広がる日本語授業作り—』のタイトルで講演会・ワークショップを行なっていただきました。

北海道支部委員会のミーティングで、今年度は CEFR をテーマに、理論だけではなく、実践との繋がりについてお話しいただける方に講演をお願いしたいという話になりました。そこで、国際交流基金日本語専門員として派遣先のドイツ国内で様々なワークショップを行い、CEFR に関連する研究を行ってきた伊藤先生に、ぜひ講演をお願いしようということになりました。

講演ではヨーロッパにおいて CEFR が誕生した社会的背景、言語能力評価の枠組みとしてだけではなく、CEFR の理念的な部分についてもご説明いただきました。その上で、CEFR の A1～C2 までのレベル感を把握するためのワークや、実際に Can Do を記述するグループワークに取り組みました。また、自分たちで記述した Can Do のルーブリックを作成し、学習者の能力をどのような観点で評価するのかについても考えました。支部委員も各自グループワークに参加しましたが、それぞれのグループでは非常に活発なディスカッションが行われていました。今回の講演は、私も含め参加者の皆さんにとって、それぞれの教育現場において、どのように CEFR を参照し、用いていくのかについて考えるきっかけになったのではないかと思います。



講演会の様子



グループワークの様子

最後に、多忙な中、講師を務めてくださった伊藤秀明先生、今回の支部活動に参加してくださった方々、そして、本支部活動の開催のためにご協力くださった関係の皆さまに心より感謝申し上げます。

（報告者：北海道支部活動委員 近藤弘）